

## 感謝胸にパラへ決意表明

陸上400m 愛知学院大・石田選手壮行会

東京パラリンピックの陸上男子400m(上肢障害T46クラス)に出場する岐阜県各務原市出身で愛知学院大四年の石田選手(ニッポ)が二十一日、日進市の同大日進キャンパスで開かれた壮行会に参加し、意気込みを語った。

石田選手は中学校で陸上を始め、高校でインターハイに出場。大学一年の時に

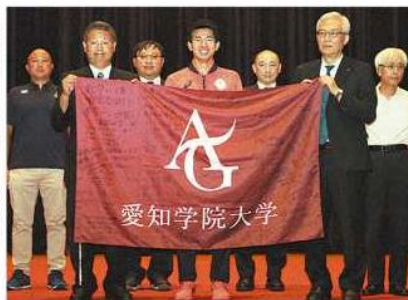
左肩に骨肉腫を発症し、人工関節を入れる手術とリハビリを経て、競技に復帰した。二〇一九年の世界パラ陸上競技選手権で五位入賞している。

日本代表のオレンジ色のジャージ姿の石田選手は「支えてくれた方々の力があったからこそ、闘病生活やコロナ禍を乗り越えられた」と感謝を述べ、

「一番まで残り一カ月。決勝で最高のパフォーマンスを発揮したい」と意気込んでいる。

二十二日から北海道である代表合宿に参加し、八月下旬ごろに選手村に入る。

(長屋文太)



後輩や同級生からの応援メッセージが書き込まれた旗を持って記念撮影する石田選手(左から4人目)や関係者(日進市で)